

令和3年度事業報告について

1 組織状況

(1) 重要な庶務事項

年 月 日	事 項
令和3年 4月 1日	令和3年度 事務局員辞令交付式
(理事会) 令和3年 6月 3日 6月 28日 令和4年 3月 24日	令和3年度 第1回理事会 " 第2回理事会 " 第3回理事会
(評議員会) 令和3年 6月 28日	令和3年度 第1回評議員会

(2) 理 事 会

事 項	出席者数	議 決 事 項
第1回理事会	書面による 全員同意	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 定時評議員会の招集について
第2回理事会	書面による 全員同意	第1号議案 代表理事理事長の選任について 第2号議案 代表理事副理事長の選任について 第3号議案 代表理事専務理事の選任について
第3回理事会	定 数 8名 出席理事 8名 出席監事 2名	第1号議案 令和3年度収支補正予算(案)について 第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第3号議案 令和4年度借入金の限度額等(案)について

(3) 評議員会

事 項	出席者数	議 決 事 項
第1回評議員会	書面による 全員同意	第1号議案 令和2年度決算報告について 第2～6号議案 評議員の選任について 第7～14号議案 理事の選任について 第15～16号議案 監事の選任について 第17号議案 会計監査人の選任について

【事業実績】

公益目的事業1 農村資源に関する相談、情報提供を行う事業

- ・ 農業に関して、ワンストップで相談対応できる総合窓口の設置

→相談窓口 771件

農業者	458件
農業を始めようとする者	282件
農業を支えようとする者	30件
農業を応援しようとする者	1件

- ・ 農業人材育成の取組・支援体制等について情報発信（ホームページ、求人サイト、オープンキャンパスなど）
- ・ 新規就農者向け情報に特化したホームページの作成・情報発信
- ・ 農地、住居、移住者等の情報収集・リスト化と関係機関での情報共有
- ・ 首都圏、関西圏での新農業人フェア、移住セミナー、「いしかわ農業キックオフ講座」等での情報提供や就農相談の実施
- ・ ハローワークでの就農相談会、農林漁業就業合同面談会を通じた求人・求職者のマッチング

→就農相談会 15回（うちオンライン開催6回）

県内（県・機構主催1回、ハローワーク主催4回）	計5回
県外（東京2回、大阪2回、オンライン6回）	計10回

公益目的事業2 農業に関する幅広い人材を育成・確保するための事業

- (1)いしかわ耕稼塾によるプロ農業者から農業のサポーターまでの幅広い人材の育成
〔農業者向け〕

- ・ プロ農業者養成のための経営・販売能力向上のスキルアップコース
→経営革新スキルアップコース〈講義・演習、16回〉 5人
- ・ 事業規模拡大を進める企業的経営体等の次世代の組織経営の中核を担う人材の育成
→経営発展マネジメントコース〈講義・演習、10回〉 3人
- ・ 多角化や規模拡大を目指す経営体の幹部社員を養成するためのセミナーの実施
→企画管理力向上セミナー〈講義・演習等 5回〉 延べ26人
- ・ 農商工連携等による農業の6次産業化に向けた農業者の経営、流通・販売等の能力向上研修の実施
→6次産業化研修〈講義・視察等 17回〉 延べ252人
- ・ 女性農業者を対象とした経営発展のための販売計画や手法、商談スキル等を実践を通して学ぶセミナー
→女性農業者活躍セミナー〈講義・演習、実習等5回〉 延べ33人

- ・ コマツやトヨタ等、他産業と連携し取り組んできた低コスト水稻生産技術や現場改善ノウハウを活用した生産効率化等の石川型の収益向上モデルについて、生産現場への導入に向けて実際の技術を学ぶ研修の実施
 - ・ 農業用ブルドーザを活用した農作業研修〈講義・実習〉
 - 基礎研修受講者 12人
 - 現地研修受講者（基礎研修を受講した農業法人等） 9人（9法人）
 - ・ ドローン研修〈講義・演習〉 延べ16人
 - ・ 農業カイゼン塾〈講義・実習〉 延べ30人
 - ・ 施設園芸高度化実践研修〈講義・実習〉 5人
- ・ 大規模経営体による耕作放棄地解消のための実践的技術習得の場の提供
 - 雑草が繁茂し地力が低下している痩せた農地での作物栽培技術及び大規模経営体向けの省力化技術の実証（トライアル農場）
- ・ 独立就農を志向する耕稼塾研修生等の早期の経営安定に向けて、需要者ニーズに対応した売れる農産物づくりを学ぶ研修の実施
 - 需要対応型野菜づくり研修〈講義、視察等、4回〉 延べ69人

〔就農〕

- ・ 予科、本科、専科など段階に即した人材の育成
 - | | |
|-------------------|----------|
| 専科〈週5日実技、1年〉 | 1人 |
| 本科〈週4日実技・1日講義、1年〉 | 5人 |
| 予科〈週1日実技・講義、1年〉 | 22人 |
| 実践科〈週1日講義・実習、1年〉 | 22人 計50人 |

〔農業の応援団向け〕

- ・ 一般県民の農業理解を深めるための農作業体験（農業学ぼうコース）、セミナー等の実施
 - 農業学ぼうコース〈2コース各3回〉 72人
 - 駅前アカデミー〈講義・実験5回〉 41人
 - 開放セミナー〈講義 4回〉 延べ193人
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策や食品衛生等の研修による、地元食材を利用した料理の充実と質の向上を図る「農家民宿・農家レストラン講座」の実施
 - 農家民宿・農家レストラン講座 4回 延べ44人

(2) コーディネーターによる就農希望者と就農地のきめ細かなマッチングの実施

→ コーディネーターの設置 本部1人（総括）、地区7人

(3) 都市住民のUIターンによる就農、定住を支援する農業インターンシップの実施

→ 5人〔8月～3月：3～12日間〕

(4) 学生や会社員等が、休日等を利用し参加できる「農業法人見学会」「農業体験短期研修」の実施

→ 13人〔農業法人見学会(7月31日)11人、農業体験短期研修 2人〕

(5) 就農支援のための給付

①次世代人材投資資金（準備型）

新規就農前の準備期間（研修期間）の所得を確保するための給付金の支給

→ 3人

②就農支援資金

青年等の就農を促進するため、研修や就農準備に必要な資金を無利子で貸付

（制度改正により融資元が日本政策金融公庫に変更となり、以後、新規融資なし）

→継続 6件

(6) いしかわ農業参入支援ファンド

- ・ 中山間地域や世界農業遺産認定地域において、農業参入や規模拡大により耕作放棄地の解消等を図る参入企業・農業法人等に対し、ファンド運用益を活用した営農開始段階での初期費用の一部を支援

→新規採択件数 4件（通算採択件数 27件）

公益目的事業3 農業経営の発展、安定化を支援する事業

(1) 認定農業者等の経営安定及び強化への支援

- ・ 認定農業者、集落営農組織の育成と経営発展に向けた経営相談・診断活動
- ・ 農業経営指導者の資質向上に向けた研修会の開催

→

認定農業者	2, 147	経営体	法人設立・経営相談	延べ221回			
	564	経営体			経営講習会	延べ3回	75人
	370	経営体			指導者研修会	延べ6回	146人
					経営セミナー	延べ2回	146人

- ・ 担い手への農地集積に向けた農地の利用調整への支援

(2) 県内の企業と連携した収益力向上に向けた基幹技術開発や農業用機器の改良

→ トマト根域冷却ヒートパイプの開発など基幹技術開発トライアル事業の採択案件の進捗確認、生産機械の小改善事業の実施

(3) コマツと連携した石川型低コスト水稻生産モデル普及に向けた農作業研修・PR

→ 大規模経営体が自ら農業用ブルドーザを活用できるように、木場潟公園東園地横コマツ農業用建機研修ほ場で研修会を実施（12人参加）

(4) コマツ、東レと連携した地下水など自然エネルギーを利用した冷暖房技術、及び新たな遮熱資材等を活用した高収益型施設園芸モデルの開発・実証

→ 遮熱資材等の改良により高単価な秋どりトマトの増収を確認

- (5) コマツと連携したホイールローダを活用した新たな低コスト畑作生産モデルの開発及び現地実証
→農業法人で現地実証を実施、効率的な排水改良技術を確認
- (6) ドローンを活用したIT企業との連携による中山間地等の小區画ほ場での新たな低コスト水稲生産モデルの開発
→自動飛行ドローンによる直播栽培の実用化に向け、条件不利地を含む県内全域の9法人で実証
- (7) トヨタのノウハウを活用した農業生産工程の見える化と現場改善を通じた生産工程の効率化に向けた改善活動に取り組む農業法人を支援
→水稲、野菜、加工等の複合経営に取り組む15農業法人で実証中
- (8) いしかわ農業振興協議会、農業法人協会、農業青年グループ連絡協議会、女性農業者グループ等の運営支援
- (9) 収入減少影響緩和対策積立金
担い手の経営全体に着目して、対象農産物の価格下落等による収入の減少の影響を緩和するため、収入減少の9割を補てんする対策における農業者の積立金を管理

公益目的事業4 農産物の生産、流通及び加工を支援する事業

- (1) いしかわ百万石マルシェや地産地消受注懇談会等への参画支援と県食品協会やISICO等と連携した商工業者とのマッチング活動の強化
- いしかわ百万石マルシェ <11月9日> 出展14団体・個人、来場者122人
<3月8日> 出展15団体・個人、来場者126人
食品王国いしかわ百万石マルシェ <10月13日> 出展75団体・個人、来場者259人
地産地消受注懇談会 <7月20日> 出展23団体・個人、来場者74人
首都圏の需要者と生産地での意見交換会 参加者5者
- (2) 流通産業と連携した百貨店提案型の商品づくりや石川県体験ツアーなどを通じた県産食の魅力発信
- 石川県体験ツアーの開催〔9月6日～8日 参加者10人〕
石川フェア等の開催〔伊勢丹新宿本店：11月10日～16日〕
オンラインでの県産食材の販売・PR〔ISETAN DOOR 11月11日～29日〕
〔MOOD MARK 8月14日～25日、1月15日～31日〕
- (3) 販路開拓アドバイザーの活用による百貨店におけるフェアの開催等、県産農林水産物の生産実態に合わせた海外販路開拓の支援
- ルビーロマンフェア 台湾 <8月26日～29日>
能登志賀ころ柿フェア 台湾 <1月13日～16日>

- (4)台湾での県産食材の販路開拓・PR及び中華日式料理発展協会と連携した日本料理人研修の実施
→台湾の日本料理人を対象とした県産食材・食文化理解促進研修をオンラインで実施
(3月28日 参加者 24人)
→台湾の日本料理店において石川フェアを開催(3月9日～20日 3店舗)
- (5)農商工連携等による商品開発や販路拡大に向けた取り組みへの支援
- (6)6次産業化に取り組む農林漁業者に対する6次産業化プランナーなどによる一貫した取り組みの支援
→相談件数 145件
- (7)ルビーロマンをはじめとする特色ある農林水産物のブランド化を推進
→いしかわ百万石マルシェ、ホームページ「いしかわ百万石食鑑」等、あらゆる機会を通じて県内外へ魅力発信
- (8)味の素(株)と連携した県内スーパーでの県産食材フェアや料理教室の実施
→県産食材と味の素商品を使った料理教室(10月31日 父親12人参加)
(1月31日、1月6日 親子12組37人参加)

公益目的事業5 環境への配慮や農村資源の保全・活用、担い手への農地集積を支援する事業

- (1)耕作放棄地の解消に向けた関係者等の調整・マッチングの実施
- (2)集落等調査による受入農家、空き農地等経営資源の掘り起こし
- (3)農地中間管理事業
県の指定を受け、農地中間管理機構がリース機関(農地バンク)として介在し、農地集積・集約化、農業参入の促進、耕作放棄地の解消・発生防止等を図ることで、地域の中心的な担い手への農地集積を推進
→借受面積 428ha、貸付面積 485ha
- (4)いしかわ里山振興ファンド
「元気な里山里海づくり」を推進するため、令和3年度にファンド規模を120億円から180億円に拡充し、新たに、地域資源を活用した生業(なりわい)に取り組む地域の若者や移住者に対する奨励金制度を創設し、チャレンジ精神旺盛な担い手の参入を支援。

併せて、里山里海の資源を活用した生業の創出や食を中心とした地域ならではの魅力を
提供するスローツーリズム等に取り組む事業者等に対し、「いしかわり山づくり推進協議
会」を通じ、初期費用の一部支援等を実施

→採択件数 35件